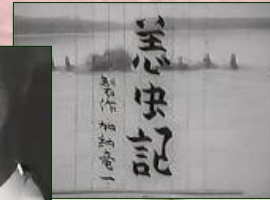


Nagoya University Medical Museum
Small Exhibit 18th

ミニ展示会

医学史に残る

大先輩の足跡



入場無料

2018 5. 23 WED - 10. 31 WED

平日 9:00-20:00 8月8日-8月24日は9:00-17:00
土 13:00-17:00 8月8-24日の土曜日は休館日
休館日: 日・祝日、8月13、14、25-31日

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

名古屋大学およびその前身校の愛知県立医学専門学校、愛知医科大学、名古屋大学医学部（前身校含む）には、世界トップレベルの研究を行い、医学の発展に寄与した多士済々な大先輩がいます。

「ミニ展示会 医学史に残る大先輩の足跡」は、以下の7名に焦点をあて、名古屋大学医学部史料室（附属図書館医学部分館4階）に所蔵する史料の中から、大先輩たちが残した世界的な研究に関連する著書や、写真などを展示公開します。

- ① 日本の神経学の祖・川原汎
- ② ツツガムシ病の第一人者・林直助
- ③ 世界で初めて睡眠物質の存在を報告した石森國臣
- ④ 日本神経学の開拓者・勝沼精蔵
- ⑤ 汗の博士・久野寧
- ⑥ 脳血管撮影法の確立などを行った齋藤眞
- ⑦ 杉田クリップ開発者・杉田虔一郎

また展示期間中に、特別講演会（後日HP等で詳細発表）も開催予定です。ぜひご来場ください。



名古屋大学医学部史料室は、附属図書館医学部分館の4階にあります。

医学部史料室では、名古屋大学の源流である明治4年の名古屋県仮医学校設立前後の史料を中心とし、東海地方の医学の歴史的発展過程、さらに広く医学・医療史に関係する古医書、歴史的医療器具、古写真、絵画等を所蔵しています。

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



近代医学の黎明デジタルアーカイブ

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>



資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。